

地域貢献活動の概要

取り組み項目	地域貢献活動内容
(1) 地域との連携推進	
① 商店会、商工会議所との連携強化	・成田商工会議所へ加入
② 地域で開催される会議への参加	・商工会議所会議参加・成田空港地域共生委員会参加 ・成田市、成田警察召集の会議参加 ・成田空港通り活性化協議会の立ち上げと行動の継続 ・成田市廃棄物減量等推進審議会委員(副店長)
③ 地域で実施される各種行事、活性化に向けた取り組みへの参加、協力	・成田祇園祭りへの参加
④ 地域で活動しているNPO、ボランティア団体等への	・毎月11日イオンデーとして「しあわせの黄色いシートキャンペーン」開催。シート金額の1%分を品物で贈呈
⑤ 地域連携による活性化イベントの実施	成田空港通り活性化協議会を中心に、成田市・日本ユニセフ協会・商工会議所・富里市・等と協力し、成田ワールドミュージックフェスティバルを開催、継続中
⑥ 販売促進のための共同事業(一斉大売出し、共通商品券、共同宣伝、ポイントカード等)	・成田うなぎ祭りへの参加
⑦ 地域内業者との取引拡大、障がい福祉施設等との積極的な取引	・障がい福祉施設で製造のパンを販売(月2回程度) ・福祉施設によるバザー会場の提供(年2日)
⑧ 地域情報の発信に対する協力、店内掲示板の活用、	・お申し出があり次第対応
⑨ インターネットの地域サイトへの参加、情報提供	・イオンモールとしてのホームページ等で情報提供
(2) 千産千消(地産地消)、地元産品普及への協力	
① 地元農産物の販売コーナーの開設	・ギフト商品の産直販売を実施 ・季節イベントとして展開
② 地元市場・農家からの仕入れ	・市内中心の「循環型農業グループかんらん車」との取引 ・JA富里との取引
③ ふるさと産品運動、地域ブランドづくり	・芝山町物産展開催(年2回)
(3) 地域雇用の確保	
① 従業員の地元雇用の促進	・パート社員、アルバイト社員の地元採用
② 障がい者の雇用	・法定雇用人数を上回る雇用の推進 ・継続的に就業できる職場環境の整備
(4) 地域資源の保全、景観形成、街並みづくりへの協力	
① 景観に配慮した施設建設、外壁の色等への配慮	・条例の遵守
② 緑地の確保	・SC周辺に46000本を植樹し、毎年4月10月の2回植栽の管理を実施
③ 地域の景観形成の取り組みへの協力	・県条例の遵守
④ 屋外広告物設置に当たっての景観への配慮	・県条例の遵守
⑤ 祭りなどの伝統行事の継承	・成田祇園祭の祭り半纏、お神輿展示とお祭り用品の展示販売及び着付け教室の開催
(5) 環境対策、リサイクルの推進	
① 店舗周辺の清掃活動	・毎月11日をイオンデーとして「従業員による清掃活動」を実施
② レジ袋の削減、マイバッグ運動の推進	・マイバック、マイバスケット販売によるレジ袋使用量の削減
③ 食品トレイ、牛乳パック等の回収リサイクル	・ジャスコ3箇所、イオンモール2ヶ所に回収ボックスを設置 ・食品トレイ、牛乳パック、アルミ缶、ペットボトル、ボトルキャップを
④ 空調機器、冷温蔵庫、照明等への省エネ機器の導入推進	・冷ケースのオーバーキャビ-照明導入(各棚板照明撤去) ・空調設備の適切な温度設定

⑤ゴミの減量化、簡易包装の推進	・簡易包装の推進 ・リサイクルペーパー使用 ・リターナブルコンテナ使用 ・リサイクルハンガー使用 ・バラ売りの強化
⑥食品廃棄物の有効活用の促進	・食品廃棄物の肥料化の推進
⑦廃棄物の自己処理の徹底	・生ゴミ処理機でのコンポスト化(毎月11日20日無料提供) ・以外は業者に委託し処理
⑧騒音対策(施設配置、作業時間帯の配慮、低騒音機器の導入、防音壁の設置等)	・立地法に沿った対応の遵守
⑨見学の受け入れによる環境学習の場の提供	・小学生、中学生の店内見学への協力
(6) 地域防災への協力	
①市町村との災害時の物資の供給等に関する協定締	・2006年8月に成田市・イオンテール(株)・イオンモールの3社で防災協定を締結
②地域の住民、市町村、関係団体等との共同避難訓練	・年3回の避難訓練 ・成田消防署からのご要望に沿った訓練の参加
③避難場所の提供(駐車場等)	・防災協定に、避難場所の提供を行う旨明示
(7) 防犯・青少年非行防止、安全・安心なまちづくり	
①安全安心なまちづくりのための街路灯の設置、維持管理	・SC周辺が公道のため対応いただいております 特に意識していません
②夜間の安全のため、店の照明の点灯	・閉店後1時間は駐車場の照明を点灯
③パトロールセンターの設置、運営	・2006年9月SC館内にパトロールセンターを設置し成田市成田警察にご利用いただいている
④自主防犯体制(強盗・万引き等の防止対策)、再発防止に向けた家庭、学校、自治会など地域住民	・成田警察、成田市が召集する市内の大型店との会合 に出席し情報と問題の共有化を図っている
(8) 青少年健全育成、職場体験学習機会の提供	
①職場体験学習、就業経験・インターンシップの受け入れ・協力	・毎年、中学生・高校生の職場体験学習の受け入れ協力 今年度は5校受け入れ
②子どもたちへの声かけ、地域の見守り事業	・事件、事故の発生防止のため、店内放送と警備による巡回強化
③食育等の体験学習会、カルチャー教室の開催	・食育体験として、教育ファームへの親子招待 ・こどもエコクラブとして、教育ファームへの参加 ・毎月19日管理栄養士による食育相談開催
(9) 地域福祉、少子高齢化対応	
①高齢者、障がい者等に配慮した施設整備、施設・店舗へのユニバーサルデザインの導入、休憩スペース、トイレ等の設置	・ユニバーサルデザインを導入 ・身体の不自由なお客さま用の駐車スペースの確保 ・多目的トイレの設置 ・車椅子の準備
②赤ちゃん休憩室、育児相談室等の開設	・2階ベビー売場奥に「赤ちゃん休憩室」を設置 ・2階こども売場奥に「ちびっこ広場」設置 ・育児相談員によるベビー育児相談を定期的開催
③高齢者等への対応として、サービス介助士等の配	・サービス介助士を配置
④AEDの設置、取り扱い可能従業員の養成・研修	・AEDを導入 ・AED救命講習受講
(10) 交通対策	
①混雑時の交通整理員の配置	・混雑時(土日祭日、盆、年末年始)は交通警備を配置
②駐車場等の整備	・立地法を上回る駐車台数を確保
③飲酒運転の撲滅に係る啓発活動への協力	・ポスターや店内放送でPR ・レストランでは、飲酒運転お断りと運転代行社の紹介
④地域における交通安全活動への参加	・交通安全啓発活動への会場提供